



平成 22 年 9 月 7 日

各位

株式会社 ストリーム
代表取締役社長 劉 海涛
(コード番号：3071 東証マザーズ)
問合せ先 取締役副社長 竹下謙治
(TEL03-5256-7684)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 23 年 1 月期の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 23 年 1 月期 第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正(平成 22 年 2 月 1 日～平成 22 年 7 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	18,832	118	122	82	2,060.46
今回修正予想(B)	18,290	168	182	107	2,698.78
増減額(B - A)	542	50	60	25	639.59
増減率(%)	2.9%	42.4%	49.2%	30.5%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	14,418	41	32	24	625.78

単位 :百万円、円

2. 平成 23 年 1 月期 通期連結業績予想の修正(平成 22 年 2 月 1 日～平成 23 年 1 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	39,418	238	232	151	3,794.26
今回修正予想(B)	38,822	294	303	214	5,383.37
増減額(B - A)	596	56	71	63	1,589.11
増減率(%)	1.5%	23.5%	30.6%	41.7%	
ご参考：前期実績	33,655	109	122	76	1,920.91

単位 :百万円、円

3. 平成 23 年 1 月期 第 2 四半期累計期間個別業績予想の修正(平成 21 年 2 月 1 日～平成 21 年 7 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	13,221	61	70	40	1,005.10
今回修正予想(B)	12,764	97	125	60	1,532.12
増減額(B - A)	457	36	55	20	527.02
増減率(%)	3.5%	59.0%	78.6%	50.0%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	11,204	25	22	12	300.34

単位 :百万円、円

4. 平成 23 年 1 月期 通期個別業績予想の修正(平成 21 年 2 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	27,416	136	140	81	2,035.33
今回修正予想(B)	26,959	166	188	99	2,496.67
増減額(B - A)	457	30	48	18	461.34
増減率(%)	1.7%	22.1%	34.3%	22.2%	
ご参考 : 前期実績	25,207	108	111	74	1,862.58

単位 :百万円、円

2. 修正の理由

(連結業績予想)

当第 2 四半期累計期間におけるインターネット通販事業におきまして、主力取扱商品の一つであるデジタルカメラの販売が低調に推移したものの、家電エコポイント制度における薄型テレビや継続的に販売を強化している洗濯機・冷蔵庫などの利益率の高い白物家電の販売が好調に推移し、又品揃えを強化した新規商材の販売も大きな伸びを示しました。更には、日本版 CSI(顧客満足度指数)にてメインサイトである「ec カレント」がネット通販部門で 1 位にランキングされネットショップとしてのブランドが高まったことや外部サイトの積極的な活用による集客・販売の増加などもあり同事業部門の利益が大幅に増加しました。

その他事業におきましても、太陽光関連の新規商材であるバックシートを中国の有力な太陽光パネルメーカーである常州億晶光電科技有限公司などへ大きく拡販することができました。

一方、当半期以降当社グループを取り巻く環境は、欧州、米国、日本などの経済不振と中国をはじめとするアジアなど新興国の堅調な経済が交錯し不安定な状態が続くものと思われまます。

このような環境の中、インターネット通販事業におきましては売れ筋商品の仕入・販売に注力しつつ、新規商品のアイテム、品揃えを更に拡充させるなど商品ラインナップを充実させ、加えてマーケティングを強化し増収増益を維持したいと考えております。

その他事業につきましては、太陽光関連のバックシートなど商材販売に関し、上記の顧客への販売量の増加や 8 月に取引を開始した世界的に有名な電気自動車メーカー比亞迪汽車 (BYD) や生産数量世界 2 位の太陽光パネルメーカーであるサンテックパワーに対する販売増加が見込まれております。

以上の状況を踏まえ、第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想を修正致します。

(個別業績予想)

個別業績予想の修正理由は連結業績予想に記載のインターネット通販事業の内容と同様であります。

以上